

三笠から教育王国復興

三笠市立三笠小・柳谷直明教頭

小中一貫教育で学力向上図る

は「鍛える国語教室」研究会の空知セミ代表を務めている。講習会を開き、国語科の授業づくりに悩む教職員をサポートしているほか、月一回程度、校務外で三笠小学校の子どもたちを対象に国語の学習会をボランティアで実施するなど、国語への探求心は尽きない。

ば」とし、「小中学校それぞれの校務、学校経営も合わせて行っていきたい」と今後の展望を。

このほか、同校では算数科で習熟度に応じた指導を全年・全学級で実施。成果も徐々に表れており、「新年度は国語科においても週一時間程度、習熟度別指導を取り入れたい」と、個に応じた手厚い指導でさらなる学力向上を目指す。

三笠小学校では、本年度から小中一貫教育に取り組んでおり、三笠中学校と連携して、学力向上や生活指導の改善を図っている。小学校と中学校では授業時間も異なるので、時間の調整に苦労。「新年度は小中一貫教育をメーンに実施することで解決できる。」

新年度は「三笠から教育王国『空知』の復興を目指して、情報発信していくとともに、コミュニティスクールの開始を目指していく」と抱負を語る。

教頭職に就き、こととして五年目。「学級担任以上にやりがいのある仕事はないと思っていた。しかし、学校全体を見る立場や、学校の課題を改善する仕事、教員の人材育成など、教頭という立場にとってもやりがいを感じている」と現在の心境を、日ごろから「感謝」の気持ちを持って校務に取り組んでいる。

北竜町立真竜小学校を振り出しに、空知管内の小学校を回った。研究熱心で、国語力リキユラム開発の研究のため、教員を続けながら北海道教育大学大学院を修了。現在

